平成 23 年 6 月 13 日発行

星陵陸上倶楽部　会報　第 21 号

■■■春季支部予選大会結果■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

4 月 23－24 日　大井陸上競技場にて行われました。

男子 100m　野本 拓見(3)
予選 1 組 1 位　11.93(-4.8)

男子 100m　陳 許(3)
予選 3 組 4 位　12.85(-7.9)

男子 100m　須藤 洋尚(2)
予選 12 組 4 位　12.71(-4.3)

男子 100m　野本 拓見(3)
準決勝 2 組 6 位　12.17(-3.2)

男子 200m　須藤 洋尚(2)
予選 2 組　欠場

男子 200m　野本 拓見(3)
予選 3 組　欠場

男子 200m　戸畑 憲一(2)
予選 6 組 7 位　26.03(-1.1)

男子 800m　平野 晃平(3)
予選 2 組 2 位　2:06.39

男子 800m　小林 聡汰(3)
予選 3 組 5 位　2:16.40

男子 800m　平野 晃平(3)
準決勝 2 組 3 位　2:05.58

男子 1500m 平野 晃平(3)
予選 1 組 3 位　4:19.65

男子 1500m　平野 晃平(3)
決勝　16 位　4:24.99

男子 5000m　天野 建(3)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 31 位　17:56.53

男子 5000m　本橋 克弥(3)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 47 位　20:07.83

男子 OP 100m　戸畑 憲一(2)
ﾀｲﾑﾚｰｽ 11 組 6 位　13.98(-3.8)

男子 OP 100m　入江 真希(2)
ﾀｲﾑﾚｰｽ 13 組 1 位　13.17(-1.5)

男子 OP 100m　川田 吉弘(1)
ﾀｲﾑﾚｰｽ 15 組 2 位　12.58(-2.1)

男子 OP 100m　渡邊 敦之(1)
ﾀｲﾑﾚｰｽ 15 組　欠場

男子 OP 400m　川田 吉弘(1)
ﾀｲﾑﾚｰｽ 2 組 2 位　1:00.22

女子 400m　土肥 志歩子(3)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 12 位　1:05.91

女子 400m　冨岡 薫(3)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 14 位　1:06.46

女子 800m　松下 華子(2)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 10 位　2:32.41

女子 1500m　石原 あゆみ(3)
ﾀｲﾑﾚｰｽ 1 組　欠場

女子 1500m　松下 華子(2)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 9 位　5:22.80

女子 1500m　内田 奈都実(2)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 13 位　5:38.82

女子 3000m　石原 あゆみ(3)
決勝 2 位　10:35.61

女子 3000m　内田 奈都実(2)
決勝 9 位　11:57.07

女子 OP 400mH(0.762m)
冨岡 薫(3)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 9 位　1:15.84

男子走高跳　阿部 一毅(3)
決勝 3 位 1m78

男子走高跳　入江 真希(2)
決勝 19 位　1m45

男子 OP 棒高跳　　渡邊 敦之(1)
決勝 2 位　3m60

男子 4x100m
　渡邊 敦之(1)
　川田 吉弘(1)
　入江 真希(2)
　須藤 洋尚(2)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 20 位　47.39

男子 4x400m
　渡邊 敦之(1)
　川田 吉弘(1)
　戸畑 憲一(2)
　入江 真希(2)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 30 位　3:55.43

女子 OP4x400m
　冨岡 薫(3)
　石原 あゆみ(3)
　松下 華子(2)
　土肥 志歩子(3)
ﾀｲﾑﾚｰｽ総合結果 9 位　4:27.74

この結果、阿部君（走高跳）、冨岡さん（400mH）、石原さん（3000m）、渡邊君（棒高跳）の 4 名が
都大会進出を決めました。

■■■平成 23 年度 OB 総会のご報告■■■

女子 3000m 出場　総合 5 位　石原　あゆみさん
南関東大会進出、という結果を出せたことに一番ほっとしています。
怪我がありましたが、松崎先輩をはじめ、他校の先生方からたくさんのご指導を頂き、何とか都総体に間に合わせることができました。
信じて応援してくれる仲間がいることを、とても嬉しく思います。
南関東大会で最高の走りをし、納得のいく結果を出すために頑張ります。

女子 400mH 出場　冨岡　薫さん
今まで多くの種目に挑戦してきましたが、今回レベルの高い方々と同じ場に立ち、様々な期待を胸に刺激ある経験をする事が出来ました。この3年の都大会という舞台で 400mH を走ることができたのも、支えて下さった皆さんのおかげであり、本当に幸せに思います。悔しい気持ちもありますが、最後には皆さんへの感謝の意を込めて1番の走りができたらと思います。
応援本当にありがとうございました。

■■■現役コーチより■■■

危なげなく予選を通過した。
4 日目――3000m 決勝　高 1 の冬期で劇的な成長を遂げ都大会常連に名を連ねて以来、故障や転倒のアクシデントなどで活躍の場がなかった石原。最後のチャンスだったが、今回もまた故障の影響で距離を積めておらず、走力も完全には戻らずにいた。トップスピードに欠ける彼女だが、他人のペースについていくことを非常に得意としており、「ゴールするまでトップに延々とついて行く」と決めてレースに臨んだ。スタート直後、予測通り順天の選手が集団から 1 人抜け出て、石原もそれにつき、3 位集団を突き放し 2 人でのレースが展開された。ラスト 800m で順天の選手がペースアップしていき、それについていくことができなかった石原はスピードが落ちていった。ラスト 150m で 3 位集団 5 人に飲み込まれ 7 位に終わってしまうかと思ったが、強い精神力から最後の踏ん張りがきいて、みごと 9’58”25 の第 5 位でのフィニッシュとなった。関東では本調子を取り戻し、実力を出し切ってインターハイ出場を勝ち取りたい。

今年度はまた、4×100mR にも期待がかかる。一昨年は 100m の走力が 11”0、11”0、11”2、11”4 と揃ったが、都大会での 2 度のバトンミスで残念ながら結果をあげることができなかった。今年度は 1 年生が主力のチームで、現時点の走力は全員が 11 秒台を出しており、一昨年のメンバーの 1 年次の記録を大きく上回っている。唯一の 2 年生であるブロック長の須藤(短・2 年)を中心に、棒高跳の渡辺、11”7 を出している新星川田(短・1 年)、元サッカー部の俊足加藤(短・1 年)の 4 名で切磋琢磨していくことを期待したい。また、中長距離でも、800m を得意とする鈴木(中・2 年)と松下(中・2 年)に、新人戦での活躍を渇望する。

マネージャーの活躍も、選手の戦績に大きな影響を与えている。3 年 1 人 2 年 2 人のベテランに加え、今年も 2 人が入部し、選手をしっかりサポートしてくれている。
彼女らの存在が、近頃の日比谷陸上部の活躍を支えているといっても過言ではないだろう。

現在は、3 年生は最後の学年別に向けて調整を行い、関東メンバーは最後の追い込みを行っている。最後に 3 年生がどのような素晴らしい姿を見せてくれるのだろうか。また、新部長の戸畑(跳・2 年)を軸に、1・2 年生はここからどこまで成長していけるのだろうか、今後が非常に楽しみである。

■■■南関東大会寄付金のお願い■■■